

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

いなほ
稲穂

学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.4

R 6年5月2日

校長 蜂須賀 久幸



揺れ動く子供の心の声に耳を澄ます

入学式で 89 名の新入生を迎え入れたのは、早いものでもうひと月近く前のことになってしまいました。時間の流れの速さを感じずにはいられません。1 年生を迎える会を経て、笑顔で学習に取り組んだり友達と遊んだりする姿がたくさん見られます。また、6 年生との交流を楽しむ様子も随所にあります。

さて、入学式では昨年度同様、絵本の読み聞かせをしました。今年は、『おこだでませんように』（くすのきしげのり著）でした。絵本の主人公「ぼく」は、小学校 1 年生の男の子です。家でも学校でも親や先生から怒られていることをわかっているのです。でも、その理由がよくわかっていません。自分が良かれと思ってやった行為や楽しいからやった行為に対していつも怒られてしまうのです。それは、やりすぎだったのか、その場にそぐわなかったのかわかりません。もしかすると、大人の都合に合わなかったのかもかもしれません。ただ、怒られることなく、おうちの人の笑顔を見たいと思っています。褒めてくれる先生が、そこにいることも知っています。

学校の授業中に書いた七夕の短冊への願い事も、先生に急かされてやっと書き上げた時にはクラスで最後でした。習った文字を丁寧に、心を込めて綴りました。“おこだでませんように(おこられませんか)”と。ほかの誰でもなく、空に向かって願いを言葉にしたのです。とても切ない気持ちになります。



この本を読んだ後に話したことは、どの学年・どの保護者にも通じるところがあると考えます。まず子供たちには「自分の気持ちを、自分の言葉で、相手にきちんと伝えられるようになってください。そうすれば、きっとありのままの自分でいられると思います」とメッセージを送りました。一方保護者の方には、作者が言っている「私たち大人は、子供の見方について、『わかっているつもりでもわかっていないことがある。ということを知っていなければならない』、そんなことを心に置いておきたいということ」、「揺れ動く子供の心の声に耳を澄ますこと、また、子供たちがうまくいかなかったり失敗したりしても、頑張った部分もよく見て声かけすること」をお願いしました。

自分の子供を健全に育成したいならば、その周りにいる何十、何百という子供たちも一緒に育てていくサポーターになってほしいと願うのは、必ずしも 1 年生の保護者に限ったことではありません。5 月になり、運動会を含めて様々な学びの場が用意されています。

プール清掃のお手伝いをお願いできませんか？

今年度も水泳学習を6月中旬から実施するに伴い、6月14日（金）10時から6年生がプール掃除を行います。当日は、5校時以降に「引き渡し訓練」（予定が合わず、今年度は第八中と合同ではありません）を予定しており、午前中に動ける教職員は限定されてしまいます。保護者や地域の方にもお力添えいただきたく、地域学校協働活動推進員の佐藤さんやPTA副会長の久保さんにお声かけしています。子供たちと一緒に活動いただける方を募っています。



こうしたことを重点に、
令和6年度は学校を経営
していきます

学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる子どもの育成
 ～豊かな心をもつ 進んで学ぶ 体をきたえる～

行動する力
 ～よいことを言うよりも、よい行動を選択・実行する～

やさしく豊かな心
 ～心に寄り添った、厳しくも温かい指導～

- いじめ・不登校を呼ばない人間関係作り
 ⇒ 本音で語る道徳・人権教育
 ⇒ 自他のリスペクト（自分も好き）
- 教育相談活動・支援体制の充実
 ⇒ 児童に寄り添う教職員への支援
- 教育環境の美化・整備
 ⇒ 清掃活動と指導の充実
 ⇒ 季節と命の大切さを育む植物環境
 ⇒ 図書館活用と全館図書室計画の推進

かしこく考える頭
 ～好奇心を刺激して、
 どの子にも提供する学ぶ喜び～

- 楽しくわかる授業の創造
 ⇒ 本物体験・交流活動とICTの利活用
 ⇒ よく聞き、協働で思考を深める対話
 ⇒ 少人数・教科担任制の推進
 ⇒ 家庭学習との連続性
- 算数科教育と研究から派生する学びの充実
- 家庭学習の習慣化
 ⇒ 自ら学ぶための布石・学び方

たくましい体
 ～「命・健康より大切なものはない」
 という種蒔き～

- ヘルシースクールの推進
 ⇒ 体育科授業の充実
 （指導者自らが楽しい体育学習）
 ⇒ 生活リズムを自分で決める・守る
 ⇒ 食育の充実
- 危険予知・危険回避能力の育成
 ⇒ 家庭を巻き込んだ安全指導と訓練



支える



経営方針

**共に学ぶ 共に育つ
 共に感動する 共に未来を創る**

(1) 積極的に挑戦し、自己肯定感と自信をはぐくむ地域・保護者・学校
 (2) 地域・保護者と協働し、リスペクトし合う温かみのある学校

①明るく爽やかな挨拶ができる教職員
 ②児童の実態に即して指導や傾聴ができる教職員
 ③心身ともに健康な教職員

70年の伝統を引き継ぎ(不易)、
 変革・改善の必要性を見極め(流行)、
 教育の担い手として学び続ける努力を！